

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月31日

事業所名 高山市立いきいき広場
おひさま教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	4	・体を動かす活動によっては狭いため、危険のないよう設定や内容を工夫している。	・引き続き遊具の配置等を考慮し、十分体を動かすことができるようにしていく。
	② 職員の配置数は適切である	4	0	・2人体制で行っている。	・研修等に十分対応できる人員配置が望ましい。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	・活動に入りやすいよう、動線を工夫している。	・引き続き子どもにとって安心して分かりやすい環境設定となるよう工夫していく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	・利用時間ごとに消毒、換気を行い、コロナ対策に努めている。	・引き続き遊具の消毒、こまめな換気に気を付けていく。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	・療育後には職員間で振り返りを行い、次の療育につなげられるようにしている。	・目標設定について定期的に評価及び反省を行っていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	・保護者に対し評価の実施をお願いしている。	・結果を踏まえて、業務改善につなげていく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	・自己評価・保護者向け評価を実施し、集計したものを市のホームページに掲載。	・ホームページに掲載することをお便りなどで保護者に周知する。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	・第三者による外部評価は実施していない。	・第三者による外部評価の実施について検討を進めていく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	・市や県が実施する研修に積極的に参加。	・日々の業務との調整を行い参加できるようにしていく。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	・定期的に面談にてアセスメントを行い、保護者のニーズや課題に沿った支援計画を作成している。	・アセスメントを大切に、子ども一人ひとりに合った支援計画を作成していく。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	・新版k式発達検査を活用している。	・発達検査の結果を参考に、面談にて相談して支援計画を考えていく。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	一人ひとりに合った課題や保護者の方の願いが支援計画に反映されるように作成している。	・保護者の方にも分かりやすいものとなるよう、書き方や説明に配慮していきたい。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	・児童発達支援計画をもとに支援方法を組み立てている。	・子どもの状況と計画が合っているか考えながら、日々実践、反省していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	・職員間で話し合いながら活動プログラムを立案している。	・引き続き話し合いながら、進めていく。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	・子どもの意欲を引き出せるよう、内容や環境設定を工夫している。	・一人ひとりの子どもに合わせた活動プログラム、支援方法を試行錯誤していく。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	4	0	・子どもの状況に応じて計画を作成している。	・引き続き子どもの状況に合わせて、必要な支援を見極めていく。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	・療育前には支援の内容について話し合い、確認を行っている。	・打合せなどを十分行える勤務時間の確保に努めている。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	・療育後には職員間で振り返りを行い、記録をしている。話し合うことでの気づきを次の計画につなげていく。	・日誌には課題も記録することで、次の支援につなげていく。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	・療育日誌に記録し、次への支援へつなげるようにしている。	・支援の見直しがしやすいように、ポイントを押さえた書き方を勉強していく。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	・児童発達管理責任者と、各事業所の担当者で必要性を判断している。	・個別記録や保護者への活動記録を読み返し、モニタリングに反映していく。
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	・児童発達管理責任者が参画している。	・必要な場合は各事業所担当者も同席する。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	・支所の保健師さんや子ども発達支援センターと連携した取り組みを行っている。	・日頃から情報共有を行い連携をとっていく。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・今年度は対象になるお子さんはみえなかった。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・今年度は対象になるお子さんはみえなかった。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	・園訪問や電話にて情報共有を行っている。	・引き続き必要に応じて支援内容の共有や相談をしていく。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	・面談や電話、引継ぎシートにて情報共有を行っている。	・保護者と相談しながら引継ぎシートを作成する。就学先に保護者から提出してもらい支援の引継ぎを図っていく。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	・子ども発達支援センターが実施する巡回指導に参加し他の事業所との連携に努めている。	・内容については検討しながら研修を続けていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4	・今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため交流は控えた。	・状況を見ながら交流の機会について検討していく。
	㉑ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	4	・今年度は会議が開催されなかった。	・今後会議に参加した場合には、内容について職員に伝え共有できるようにしていく。
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	・毎回活動記録を通して保護者と伝え合う。必要に応じて面談を行っている。	・引き続き保護者からの相談に迅速に対応できるよう努めていく。
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	4	・今年度実施はなかった。	・子ども発達支援センターと連携して、ペアレントトレーニングが実施できるように検討していく。
保護者への説明責任等	㉔ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	・契約時、児童発達管理責任者から説明している。	・書類でも渡すことで、理解につなげている。
	㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	・保護者に分かりやすく説明し、個々に応じた支援内容を具体的に知らせる。	・同意が得られた支援計画についてはサポートブックに綴るよう依頼し、いつでも見られるようにしてもらう。
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	・必要に応じて面談を行い支援につなげている。	・適切な助言ができるよう、専門性の向上に努めたい。
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		・少人数でもできる形を検討していきたい。
	㉘ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	・保護者から希望があった場合は日程調整し面談を行っている。	引き続き相談や申し入れには迅速に対応していく。またそれが適切な対応となるよう職員の専門性を高めていきたい。
	㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	・活動内容については個別でのやりとりが中心となっている。	・ニーズに合った発信の形を検討したい。
	㉚ 個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	・個人情報に関わる書類、パソコンは鍵のかかる棚に片づける。	・個人情報管理の強化体制をさらに図る。
	㉛ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	・個別に面談、相談を行う。	・定期的に行う以外にも、個々の状況に応じて連絡を取り合い、対応していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	・今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため卒園児対象のオープンスペースや併設園対象の招待は中止となった。	・今後状況によって開催できる工夫も検討していきたい。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	・感染症対策についてチェックリストに沿って対策を実施し、日々チェックしている。緊急時対応や防犯については併設する園と情報共有して確認している。	・引き続き感染症対策を行う。マニュアルについて定期的に職員間で確認していく。
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	・併設の保育園と合同で毎月避難訓練を実施している。	・毎回避難訓練記録に記録し、反省事項について改善するようにしている。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	・契約時に聞き取り実施。	・引き続き、契約時に聞き取りを実施する。
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	・食事をとる場面はない。契約時の聞き取りはしている。	・食事をとることはないが、契約時の聞き取りで把握していく。
	④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	・ヒヤリハット事例については職員間で共有し、すぐに環境設定を見直すようにしている。	・引き続きヒヤリハットの事例があった場合にすぐに共有し、対応していく。
	④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	・職員全員が定期的に虐待チェックを行っている。	・虐待についての研修への参加や、チェックの継続を行う。
	④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	4		・これまでに身体拘束を行う事例はなかったが、やむを得ず行う場合の判断基準及び対応について組織として決定していく。